



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

えい が かん とく おお しげ じゅん いち ろう ちょ さく しゅう
映画監督大重潤一郎著作集

うみ たみ
われらが海民

たかはしじしゅう
高橋慈正 編

ISBN978-4-89629-462-0 C0074 四六判並製本／本文 392 頁／定価：3520 円税込

『光りの島』『久高オデッセイ』三部作など、海からの眼差しをもって
文明批評の姿勢を貫いたドキュメンタリー映画監督の著作を集成。

- 1、新聞雑誌などに発表された文章、講演録、対談録はすべて収録。
- 2、映画シナリオ、草稿、企画書等、巻末には、詳細な大重潤一郎年譜、作品リストを収める。
- 3、大重監督と親交を深めた宗教学者・鎌田東二の「いのちの汀」、編者の解説が読者の手引きとなる。

高橋慈正 たかはし・じしゅう
曹洞宗僧侶。スピリチュアルケア師。
一九八〇年東京生まれ。二〇〇二年に大重潤一郎監督と出会い、二〇〇
八年より『久高オデッセイ第一部』『第三部』の演出助手を務める。また、
NPO 法人東京自由大学やオンラインなどで大重監督作品の上映活動
を続けている。

大重潤一郎 おおしげ・じゅんいちろう
映画監督。
一九四六年、鹿児島市生まれ。20歳から岩波映画製作所
で演出補などを務める傍ら、一九七〇年、鹿児島県黒神
集落の開拓民を題材とする監督デビュー作『黒神』を發
表。人間性を破壊していく現代社会のあり方に疑義を呈
し、自然への畏敬、風土に根ざした人々の暮らし、各地
の伝統的な祭祀を題材とする作品を多く手がける。『光
りの島』（一九九五年）、『風の島』（一九九六年）、『縄文』
（二〇〇〇年）、『ビッグマウンテンへの道』（二〇〇一年）
などを発表後、二〇〇一年より十四年以上にわたり沖縄久
高島の取材と撮影を続け『久高オデッセイ』三部作を完
成する。また、二〇〇三年、小川紳助・大島渚両監督の
対話を記録した『小川プロ訪問記』がベルリン映画祭招
待作品となる。二〇一五年、那覇にて逝去。



*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

番線印	ご注文数	映画監督大重潤一郎著作集 われらが海民 高橋慈正 編 ISBN978-4-89629-462-0 定価 3520 円税込
ご担当：	様	冊